

我が国の大・中・小都市のヒートアイランド

heat island(1)

梅干野 晁 [1]

Akira Hoyano[1]

[1] 東工大・総理工・環境理工

[1] T.I.T

我が国におけるヒートアイランド現象は、東京や大阪などの大都市を対象にして議論されてきたが、小中都市においても同種のヒートアイランド現象は顕在化している。特に地方の中小都市においては、自動車社会により、都市は校外へとスプロールし、水田を埋め立て里山を崩し、ヒートアイランド現象を引き起こす道路・駐車場を建設するなど、土地被覆の改変はすさまじい。また、都市の生活空間における熱環境も、夏季には悪化の一路をたどっている。人工衛星と航空機からのリモートセンシング画像による大中小都市のヒートアイランド現象の実態や、いろいろな生活空間において全球熱画像収録装置で収録した熱画像により、夏季の生活空間における表面温度分布の実態を示し、今日の都市にはいかに熱があふれているかを確認する。

広大な水田が広がる砺波平野に分布する高岡、砺波等の中小都市、そして散居を対象として、灌水期（5月）、夏期、雪に覆われた冬期のそれぞれ昼と夜の熱画像で、砺波平野の広域から、地上分解能 50cm の生活空間の実態を紹介する。

次に、いろいろな生活空間において、全球熱画像収録装置で収録した熱画像により、夏季の生活空間における表面温度分布の実態を示し、今日の都市にはいかに熱があふれているかを確認する。